

第1回 田布施町庁舎問題等検討町民委員会次第

平成27年7月6日(月)

午後1時30分～

町役場3階 議員控室

1 委嘱書交付

2 町長あいさつ

3 委員自己紹介

4 委員長、副委員長の選任

5 委員長あいさつ

6 協議事項(議長:委員長)

(1) 庁舎問題等の対応状況について(これまでの経緯)

① 公共施設適正配置・公有地有効活用プロジェクトチームの報告(H25.3) 資料1

② 庁舎問題等の対応状況について(平成27年6月定例議会報告) 資料2

③ 町財政の状況(中期財政見通し) 資料3

(2) 今後の対応について

① 問題点・課題点の整理について 資料4

② 当委員会の協議のあり方、進め方について

③ 山口県との「旧田布施工業高校利活用検討WG」の進め方について

(3) その他

(4) 旧田布施工業高校校舎の視察【現地移動】

庁舎問題等の検討における問題点・課題の整理について

H27.7.6

田布施町庁舎問題等検討町民委員会資料

1 主な公共施設の現状と課題

(1) 本庁庁舎

- ・昭和45年建築で、築後45年が経過し、雨漏りや外壁の剥がれなどの老朽化が進んでいる。庁内プロジェクトからは、築後50年までには建替えることが適当との報告を受けている。
- ・耐震性について、庁舎に求められるIs値0.72に対し、0.42と低く、大地震による振動や衝撃に対し倒壊または崩壊する危険性があると診断されている。
- ・診断の際の耐震補強案では、本庁1階内に耐震壁と6箇所の鉄骨ブレースが必要とされており、これを実施すれば、窓スペースが大幅に減り、これまでどおりの業務を行うことは困難。
- ・このまま庁舎として使用する場合は、耐震補強だけでなく、長寿命化工事も必要となるが、築後45年が経過しており、その効果は不透明。
- ・エレベーターがなく、バリアフリーに対応できない。

(2) 中央公民館

- ・昭和43年建築で、町の施設のなかで最も古く、雨漏りや外壁の剥がれなどの老朽化が著しい。
- ・耐震診断で公民館に求められるIs値0.6に対し、0.53と低く耐震補強の必要性があるが、耐震補強により、施設寿命が延びる訳でなく、実施は困難。
- ・教育委員会、社会福祉協議会が入室
- ・現在は各校区域に公民館が設置されており、中央公民館の必要性は検討する必要がある。

(3) 保健センター

- ・西田布施公民館の中に併設されており、場所が分かりにくい。
- ・今後の介護支援事業などで保健センターの役割は大きく、また、関係課との連携が重要になる。

(4) その他の公共施設

- ・上記3施設以外にも建築後30年を経過する施設も多いことから、各施設の公共性、必要性を再評価する必要がある。
- ・さらに、今後予測される厳しい財政状況を踏まえ、国が求めるように、今後、全ての公共施設について、更新・統廃合・廃止などを規定する公共施設配置計画の策定を計画している。

2 庁舎整備計画3案の比較

(1) 整備計画（案）の比較

区 分	1案 現庁舎の改築	2案 旧田布施工業高校の利用	3案 新築(現位置の場合)
事業概要	老朽化した現庁舎を大規模改造し、耐震化、長寿命化を図る。	旧田布施工業高校本館(4階)とグラウンド約半分を利活用し、庁舎を移転	新築(現位置の場合)
建築年度	昭和 45 年建築 (45 年経過)	昭和 63 年建築 (27 年経過)	*
耐 震 性	× → ○	○	○
主な工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事 ・長寿命化工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎改修工事 ・長寿命化工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事
(追加工事)	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降機設置工事 ・非常用発電設備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降機設置工事 ・非常用発電設備工事 	

(2) 規模・機能の比較

区 分	1案 現庁舎の改築	2案 旧田布施工業高校の利用	3案 新築(現位置の場合)
事務室等	1, 116㎡	1, 263㎡	*
会議室等	349 ㎡	328 ㎡	*
倉庫等	195㎡	248㎡	*
文書庫	88㎡	(84㎡)別棟予定	*
駐車場	190 台	203 台(別位置含む)	*
課題と問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター併設困難 ・教育委員会は別場所 ・耐震補強で1階はプレス、耐震壁が設けられ、窓口面積が大幅に減少 ・長寿命化工事を行っても築後45年が経過しており、効果は不透明 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター併設困難 ・文書庫、倉庫の確保 ・グラウンド駐車場からの段差、距離の解消策(スロープ・エレベーター等の検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター併設困難(2案と同規模の場合) ・今後の財政事情等を考慮すれば、庁舎建設だけで多額の経費を起債対応することは、財政数値も悪化し、他の施策に影響を与える

(3) 事業費の比較

- 試算条件 ① 庁舎に関する工事に限定し、倉庫等整備の経費は考慮していません。
 ② 3案の新築の庁舎規模・機能は2案の旧田布施工業高校の利用と同規模・同機能と想定
 (単位：千円)

区 分		1案 現庁舎の改築	2案 旧田布施工業高校の利用	3案 新築(現位置の場合)
庁舎建築改修工事費	ア 大規模改修工事	128,000	115,000	庁舎建築工事 526,000
	イ 耐震補強工事	45,000	0	
	ウ 昇降路増築工事	9,000	12,000	
	エ 電気設備工事	105,000	127,000	120,000
	オ 機械設備工事	50,000	58,000	66,000
	カ 昇降機設備工事	16,000	18,000	18,000
	キ 屋外付帯工事	2,000	20,000	20,000
	ク 付属備品工事	25,000	50,000	50,000
	ケ 諸経費等	105,432	110,400	201,160
コ 仮設庁舎工事		100,980	0	100,980
サ 用地、建物購入費		0	* 98,116	
計		586,412	608,516	1,102,140

*用地、建物購入費は、県の台帳価格に公用減額率等を考慮して試算した価格。実際に購入する際には鑑定評価を行う。

3 庁舎整備の財源問題

(1) 庁舎建築改修工事(起債対象経費のみ)

防災対策事業債(90%充当)、一般事業債(75%充当)、山口県きらめき支援資金(25%充当)

(2) その他の経費

仮設庁舎建設工事 … 一般財源(財政基金で対応)

用地・建物購入費 … 土地については、土地開発基金で先行取得し、その後、一般事業債等で一般会計で買い戻す。建物については、公共施設整備基金で対応。

(3) 財源試算の比較

(単位：千円)

区 分		1案 現庁舎の改築	2案 旧田布施工業高校の利用	3案 新築(現位置の場合)
起債 (案)	起債額	414,800	459,200	938,500
	起債名 (償還期間)	・防災対策事業債(10年) ・一般事業債(10年) ・きらめき支援資金(10年)	・一般事業債(15年) ・きらめき支援資金(15年)	・一般事業債(20年) ・きらめき支援資金(20年)
一般財源		171,612	149,316	163,640
計		586,412	608,516	1,102,140

4 町財政の状況

(1) 基金現在高 (平成 26 年度末) (単位: 千円)

(単位: 千円)

財政基金	728,366
減債基金	26,137
地域福祉基金	10,918
公共施設整備基金	275,497
計	1,040,918

土地開発基金(現金)	119,706
------------	---------

(2) 関係財政状況

(単位: 千円・%)

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
・町債現在高	7,118,900	6,944,261	6,682,525
・経常収支比率 (県平均) (県ワースト順位)	93.4 (91.6) ⑦	97.0 (91.0) ①	98.0 * *
・実質公債比率 (県平均) (県ワースト順位)	15.1 (11.0) ④	14.4 (10.4) ④	* * *
・将来負担比率 (県平均) (県ワースト順位)	131.9 (69.6) ②	118.2 (59.8) ②	* * *

*算定中

5 取り巻く課題

- ・我が国では、少子化が急速に進み、全国的に人口減少が深刻な問題となっています。こうした人口減少に伴い、税収減など地方自治体の財政状況は一層深刻になると予測されています。
- ・田布施町でも、このまま推移すれば、2060年(平成72年)には現在の15,496人が8,288人にまで減少するとの推計もあります。
- ・こうした人口減少等により公共施設等の利用需要も大きく変化し、今後、公共施設のあり方は根本から問われることとなります。
- ・また、これまで建設してきた多くの施設の老朽化対策、更新対策、維持管理経費も大きな課題となってきます。

庁舎問題等の対応状況について

1) 3月定例会以後の対応

- ① 4月6日、課長会議で、移転計画（案）を説明、各課での検討を指示
（庁内検討組織の設置）
- ② 4月7日、設計事務所に現庁舎の耐震診断結果、耐震補強計画の検証を依頼
- ③ 4月23日、（検証を依頼した設計事務所からの報告）
 - ・ 現庁舎の耐震診断結果の検証報告
 - ・ 耐震診断に基づく耐震補強計画案の検証報告
 - ・ 旧田布施工業高校跡地への移転概算経費の説明
- ④ 5月15日、県と「平成27年度第1回旧田布施工業高校利活用検討WG」を開催
（協議内容）
 - ・ これまでの協議内容の確認
 - ・ 進捗状況、課題について
 - ・ 今後のスケジュール
- ⑤ 6月1日、庁内検討組織で各課の要望・意見を取りまとめ

2) 現在の状況（6月1日現在）

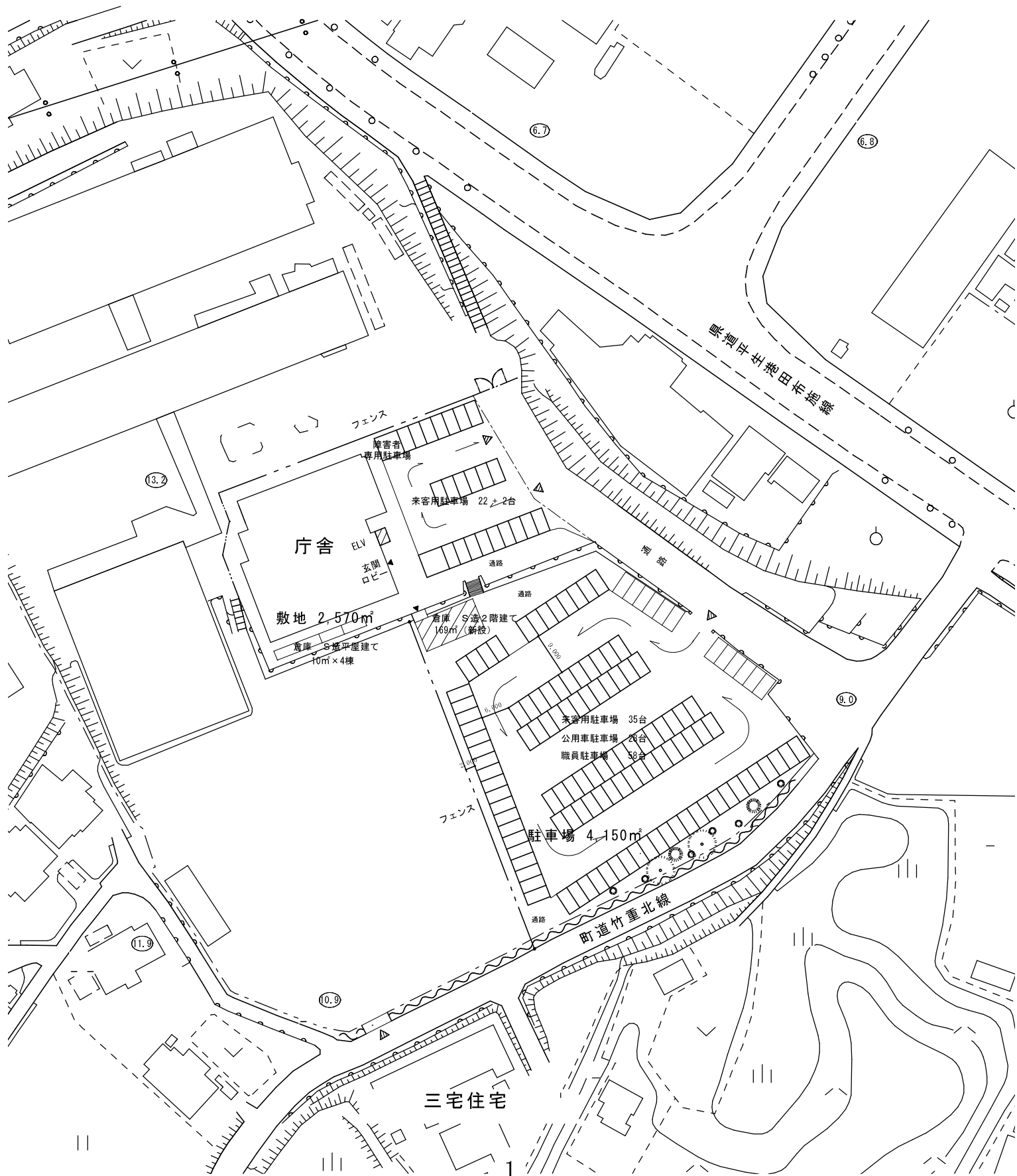
- | |
|-----------------------------------|
| ①旧田布施工業高校校舎の庁舎利用検討案（配置図）…………… P 1 |
| ②庁舎移転レイアウト（案）…………… P 2～3 |
| ③庁舎移転（案）機能検討比較表…………… P 4～5 |

3) 今後の対応

- ① 県との「旧田布施工業高校利活用検討WG」を引き続き開催
（主な協議事項）
 - ・ 役場庁舎と総合支援学校の活用エリアの内定
 - ・ 不動産鑑定評価等について
 - ・ 譲渡方法等の協議について

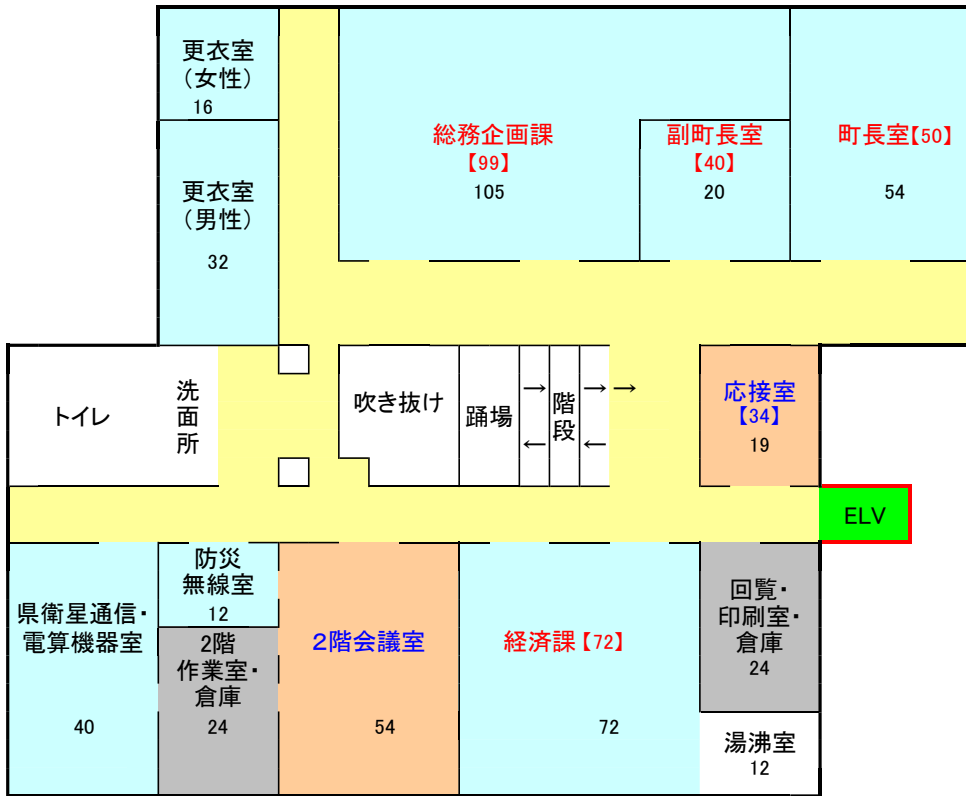
旧田布施工業高校校舎の庁舎利用検討案（配置図）

本館 R C造 4階建て 床面積 2,785㎡ S 63年建設

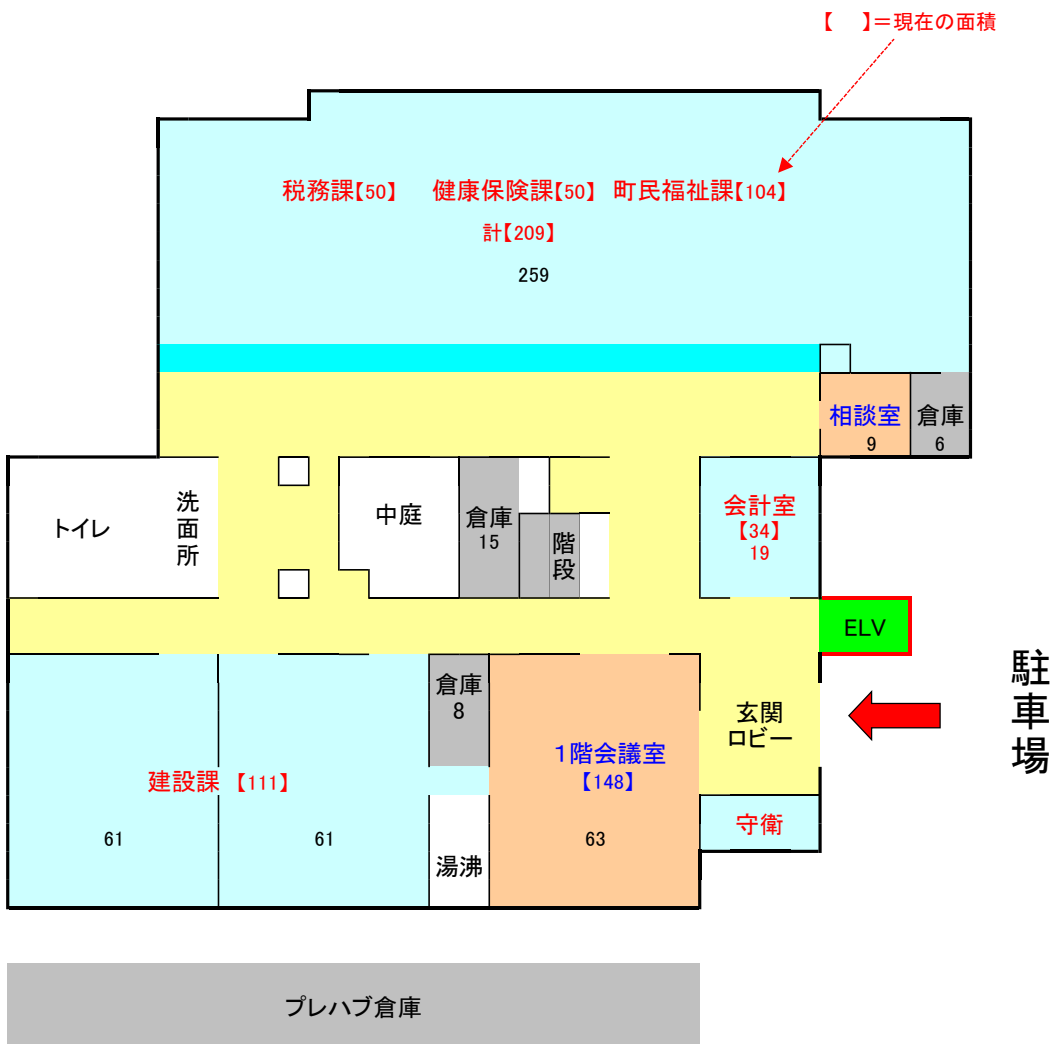


三宅住宅

2F



1F

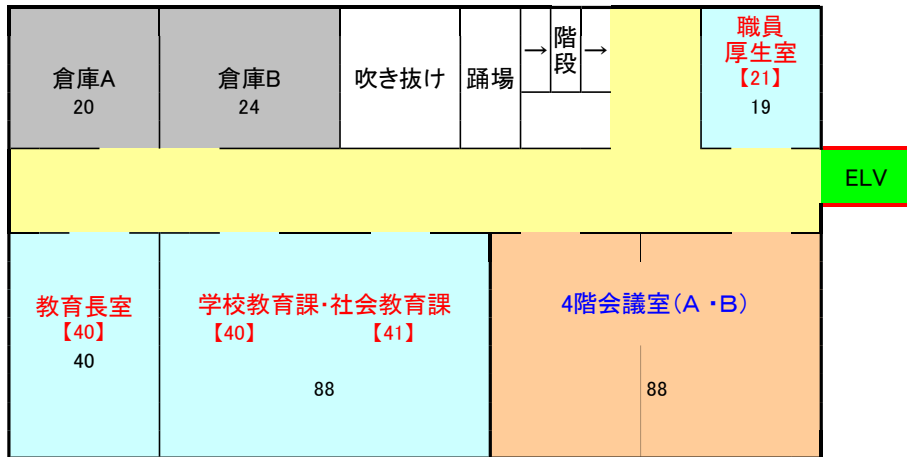


庁舎移転レイアウト(案)

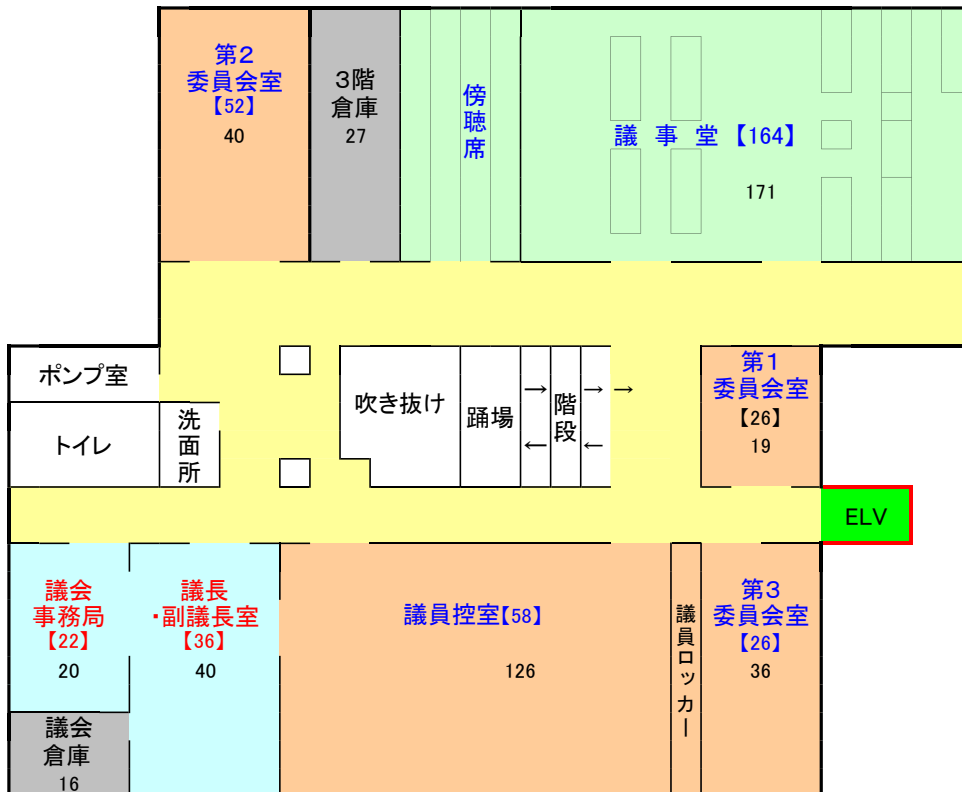
(旧田布施工業高校本館利用案)

平成27年5月25日現在

4F



3F



○庁舎移転(案)機能検討比較表

27.5.25現在

1、事務室等の比較

現 在 (㎡)			→	移 転 先 (㎡)		増減(㎡)
1階	町民福祉課	104	1階	259	50	
	税務課	50				
	健康保健課	50				
	会計室	34				
	職員更衣室	33	2階	48	15	
2階	町長室	50	2階	54	4	
	副町長室	40		20	-20	
	総務企画課	99		105	6	
	経済課	72		72	0	
	県衛星通信・電算室	6		40	34	
	防災無線室	20		12	-8	
	職員厚生室	21	4階	19	-2	
3階	議長・副議長室	36	3階	40	4	
	議会事務局	22		20	-2	
	議員控室	58		126	68	
	議事堂	164		171	7	
別棟	建設課	111	1階	122	11	
	宿直室	20		8	-12	
中公	教育長室	40	4階	40	0	
	学校教育課	40		88	7	
	社会教育課	41				
計		1,116	1,263		147 ㎡	

2、会議室等の比較

現 在 (㎡)			移 転 先 (㎡)		
1階	1階会議室	148	1階	1階会議室	63
				相談室	9
2階	2階回覧スペース	12	2階	2階会議室	54
				応接室	19
3階	応接室	34	3階	第1委員会室	19
	第1委員会室	26		第2委員会室	40
	第2委員会室	52		第3委員会室	36
	第3委員会室	26			
別棟	保健室	51	4階	4階会議室 (A・B)	88
計		349	計		328

3、倉庫等の比較

現 在 (㎡)			移転先 (㎡)		
1階	環境係奥倉庫	13	1階	1階倉庫	6
	税務課内倉庫	15		階段下倉庫	15
	税務課倉庫	23		会議室奥倉庫	8
2階	機械室	50	2階	2階作業室・倉庫	24
	文書庫	50		回覧・印刷室・倉庫	24
3階	議事堂周辺		3階	3階倉庫	27
				議会倉庫	16
別棟	建設課奥倉庫	7	4階	倉庫A	20
	建設課内倉庫	37		倉庫B	24
			別棟(案)	(1F 倉庫)	84
計		195		計	248

4、文書庫の比較

現 在 (㎡)			移転先 (㎡)		
電算室 2階	文書保存庫	88	別棟(案)	(2F 文書保存庫)	84

5、駐車場の比較

現 在 (台数)			→ 移転先 (台数)		
来客用	庁舎周辺	53	来客用	本館玄関前	24
	中公前	6		高校グラウンド	35
公用車	庁舎周辺	28	公用車	高校グラウンド	28
職員用	庁舎周辺	63	職員用	高校グラウンド	58
	中公西	40		竹重住宅跡(案)	58
計		190	計		203

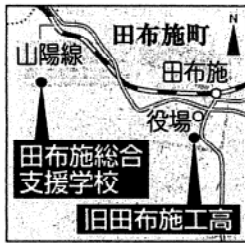
中国新聞

(平成27年3月4日)

田布施総合支援学校へ

県教委、旧工高校舎に計画

県教委は3日、田布施町川西の田布施総合支援学校高等部を、2012年3月末で閉校した同町麻郷奥の旧田布施工高校舎に移転させる計画を明らかにした。法定雇用率の達成に向けて障害者の採用に積極的な企業が増え、就職に必要なお知恵や技術を学ぶ高等部産業科の教育内容を充実させる。移転時期は未定としている。



田布施の高等部には現在、109人が在籍。うち産業科は13人で、木工▽窯業▽印刷▽農園芸の4分野を学ぶ。県教委は今後、販売▽喫茶▽介護補助▽ビルメンテナンスなど

多サービス業を教育内容に加える方針だ。背景にはサービス業へ就職する生徒の増加がある。13年度に高等部を卒業して就職した71人の77・5%がサ

ビス業で、08年度比で20・9%増えた。実習は、近隣住民に軽食や飲み物を提供したり、清掃機械で床を磨いたりすることなどを想定。施設整備が必要で、南東へ約3・2キロ離れた旧田布施工高への移転が浮上した。産業科のある他の3総合支援学校高等部のうち、下関(下関市)は18年3月末で閉校する下関中央工高へ移転させる方針。山口南(山口市)・宇部(宇部市)は敷地内で整備を検討する。岩国(岩国市)・防府(防府市)の高等部普通科に職業コースを設ける考えも表明した。時期は未定という。(村田拓也)

市長「建て替え」固める

位置など17年度に基本方針

山口市の渡辺純忠市長は、老朽化した本舎を建て替える方針を固めた。3日の市議会本会議で、2017年度に建て替えの基本方針をまとめる考えを

匠& 市中小部を巨車で回る。少子化対策の充実を掲げ、子育て世代への浸透を図る共産党新人の松田

山口総合